

水防活動の活性化に係る取組

- 団員確保・団員支援に係る取組
- 水防力の維持・向上に係る取組
- 団員の士気高揚に係る取組

団員確保・団員支援に係る取組

- 団員募集を幅広くPRする取組

- 水防団員募集の記載部分を大幅に拡大してイラストではなく実際に活動している水防団員の写真を使用し、水防団員を身近に感じてもらえるよう工夫。

平成30年度 水防月間リーフレット

みんなの地域をみんなで守る!

水防団員募集集中!



平成28年12月に水防団に入団し、初任者訓練に参加して、初めて土のう作りや積み土のう工を体験しました。水防活動は、災害時に地域の方々の「命と財産を守る」という大切な仕事であることを再認識しました。私も役に立つ水防団員になっていきたいと思えます。

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等で手当などが支給されます。詳しくは居住する市町村等にお問い合わせください。

平成29年度 水防月間リーフレット

みんなの地域をみんなで守る!

水防団員募集集中!



水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。現在、水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要です。水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等で手当などが支給されます。詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。

水防(消防)団員の推移

H8～H27の20年間で、**水防(消防)団員の人員は約12万人減少**しています。
現在、全国で約**87万人**の団員が各地で水防活動に従事しています!

水防の大切さをもっと知ってほしいから

水防月間のイベントに参加しましょう!

水防月間イベントは、全国各地で開催しています。積極的な参加、見学をお待ちしております。

■平成29年度総合水防演習実施予定

実施名	実施日	実施場所	
北海道	釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練	6月17日(土)	釧路川:北海道川上郡標茶町松地先
東北	雄物川総合水防演習	5月28日(日)	雄物川:秋田県秋田市茨島地先
関東	第66回利根川水系連合・総合水防演習	5月20日(土)	利根川:埼玉県加須市新川通地先
北陸	荒川総合水防演習	5月27日(土)	荒川:新潟県村上市荒川緑新田地先
中部	狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練	5月14日(日)	狩野川:静岡県三島市長伏地先
近畿	大和川水防・大阪府地域防災総合演習	5月13日(土)	大和川:大阪府藤井寺市北地先
中国	天神川総合水防演習	5月28日(日)	天神川:広島県倉賀野町東郷町地先
四国	吉野川・那賀川合同総合水防演習	5月21日(日)	吉野川:徳島県徳島市吉住地先
九州	本明川総合水防演習	5月14日(日)	本明川:長崎県諫早市八天町地先

水防協力団体になりませんか?

水防(消防)団と連携し、水防活動や水防に関する業務を行っていただける水防協力団体を募集しています。

- 対象
民間法人、NPO、一般社団法人、一般財団法人、自治会、ボランティア団体等
- 業務内容
水防(消防)団が行う水防活動への協力、水防に必要な資材の保管・提供、水防に関する情報収集・提供や調査研究、水防に関する知識の普及啓発等

お問い合わせは、地元市町村までお願いします。

水防訓練の支援を行います。

水防工法に関する技術指導、水防に関する講習会を必要とされている団体に水防専門家が事前講座を行います。

- 水防専門家とは…
水防工法等について水防技術者に対して指導を行っている方(水防団・消防団OB、国土交通省OB、郡連防保OB)で構成されています。

お問い合わせは、公営社団法人 全国防犯協会会でお問い合わせください。



○ 初めての取組として、水防活動の画像を活用して水防についてわかりやすく紹介するなど、国土交通省ツイッターを活用したPRを実施。【#水防で検索】

2018/4/17投稿

国土交通省 @MLIT_JAP... · 2018/04/24
 【お知らせ】#水防 知っていますか。毎年5月は「水防月間」です！（ただし、北海道は6月）
 水害の発生を警戒したり、土のうなどで水があふれるのを防ぐことを「水防」と呼んでいます。
 画像は、平成23年5月30日宮城県石巻市での活動の様です。
mlit.go.jp/report/press/m...



23 25

2018/5/2投稿

国土交通省 @MLIT_JAP... · 2018/05/02
 【#水防 知っていますか？】その1
 土のうは、ただ積んでも、あふれる水を食い止められません。
 これまで培い継承してきた積み方があります。
 積土のう工が多く現場で行われます。
 5月は水防月間です。
mlit.go.jp/report/press/m...
 画像は、平成27年関東・東北豪雨での活動です（宮城県栗原市）。



2 23 39

2018/5/2投稿

国土交通省 @MLIT_JAP... · 2018/05/02
 【#水防 知っていますか？】その2
 水防は、地域の皆さんが支えています。5月5or6日、政府広報ラジオ番組「#秋元才加と#JOYのWeekly Japan!!」で紹介！
 #TOKYOFM はじめJFN系38局ネットで放送。
 放送時間はこちら gov-online.go.jp/pr/media/radio...
 画像は、宮城県大崎市です（平成27年関東・東北豪雨）。



2 23 23

2018/5/10投稿

国土交通省 @MLIT_JAP... · 2018/05/10
 【#水防 知っていますか？】その4
 増水は、堤防を越えるだけではありません。堤防をしみ通ってしまう場合もあります。その時は、月の輪工などで漏水を抑えます。
 画像は、宮城県大崎市での模様です（平成27年関東・東北豪雨）。
 「水防月間」についてはこちら↓
mlit.go.jp/report/press/m...



25 34

2018/5/17投稿

国土交通省 @MLIT_JAPAN · 6日
 【#水防 知っていますか？】その5
 水の力が、堤防を削ってしまうことがあります。
 これを木や竹を流すことで防ぎます。木流し工【画像】、竹流し工といいます。画像は、宮城県大崎市での模様です（平成27年関東・東北豪雨）。
 「水防月間」についてはこちら↓
mlit.go.jp/report/press/m...



1 25 36

2018/5/25投稿

国土交通省 @MLIT_JAPAN · 4日
 【#水防 知っていますか？】その3
 梅雨の前に、万に備えて各地で水防演習を行います。
 積み土のう工などの水防工法も実際に行います。
 平成30年5月19日（土）、利根川水系連合・総合水防演習には1万人以上が参加しました。
 「水防月間」についてはこちら↓
mlit.go.jp/report/press/m...



27 33

2018/5/31投稿

国土交通省 @MLIT_JAPAN · 1日
 【#水防 知っていますか？】その7
 戦国武将の武田信玄公は、戦上手なだけではありません。
 今に伝わる水防工法・中聖牛【画像】は、公の創案とされています。
 これを含む伝統的水防工法は、今も水防で行われています。
 水防についてはこちら↓
mlit.go.jp/river/bousai/m...



20 39

ツイッターの効果と今後の取組

○ 同じ題材で短期間に複数のツイートを行うのは国交省で初の取組。写真や文面で一般の方でも興味を持っていたり、国交省における他のツイートと比較して多数の閲覧を獲得。

○ 今後、画像だけでなく短い動画を活用したり、実際の水防活動後に速やかに活動内容をツイートする等、工夫した取組を進める。

○ 小学生及び大学生が土のう作りと積土のう工を体験。また、展示・体験コーナーでは、一般の方や小学校の低学年でも体験できる水防工法（積土のう工）の体験や家庭でできる簡易水防工法の体験を実施。【平成30年5月12日開催 由良川水系総合水防演習】



小学生の水防工法体験



展示・体験コーナー

水防工法体験



大学生の水防工法体験



簡易水防工法

地元学生の積極的な演習参加

【団員確保・団員支援に係る取組】

- 地元小学生の避難訓練や体験土のう作り、高専生や短大生・大学生による水防工法を実施。
- 地元高校生に、「アナウンサー」として演習に参加。発言内容を自分の中できちんと理解した上、アナウンスすることで、水防への理解を深めるよい機会となった。

【平成30年5月13日開催 物部川・仁淀川総合水防演習】



小学生の避難訓練



小学生の土のう作り



高校生アナウンサー

- 授業の一環として、防災教育に積極的に取り組んでいる地元小中学校の生徒による、水防工法（積み土のう工）の実演（中学生）、土のうづくり（小学生）の体験を実施。
【平成30年5月27日開催 木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練】



小中学生の積み土のう工



小学生の土のう作り

少年消防団、女性消防団による水防活動支援

【団員確保・団員支援に係る取組】

- 将来の水防活動の担い手と期待される栄町少年消防団及び地域コミュニティとの結びつきを持った女性（主婦等）の活躍に期待し設立された栄町女性消防団による、水防活動支援（土のう作り）を実施。【平成30年5月19日開催 利根川水系連合・総合水防演習】



土のう作りを実施した「栄町少年消防団」と「栄町女性消防団」

○ 大型モニターで工法解説アニメーションや越水による堤防決壊の原因を上映すると共に、解説者がわかりやすく丁寧に解説を実施。

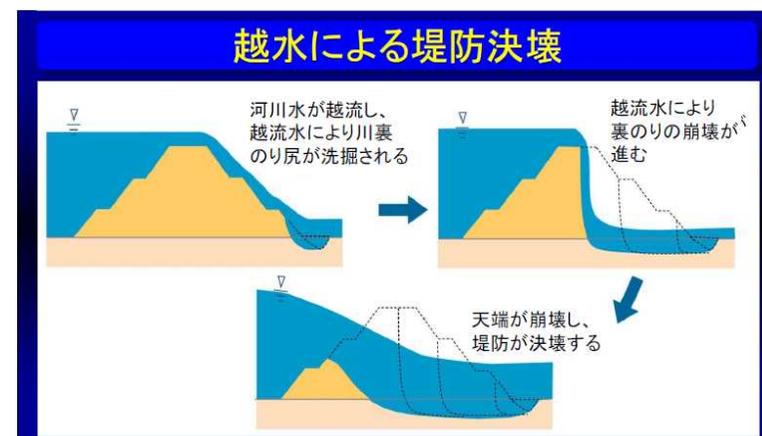
【平成30年5月26日開催 手取川・梯川総合水防演習】



大型モニター



工法解説アニメーションの上映



堤防越水解説の上映



解説者

- 洪水が堤防を越えると、水の勢いで堤防が削られ、堤防の決壊が起こります。
- 平成27年9月の鬼怒川の堤防破堤も越水が原因と言われています。
- 積み土のうは、越水による堤防決壊を防ぐ工法です。



積み土のう工の実施状況

水防力の維持・向上に係る取組

- 新しい水防資機材の活用
- 建設業者と連携した水防活動
- 関係者の連携による水防体制の強化

留萌川における土のう製作補助器及び水のうの活用【水防力の維持・向上に係る取組】

- 留萌市で実施した水防技術講習会において、土のう製作補助器を用いた土のう作成訓練及び三角水のうの設置訓練を行った。

土のう製作補助器

【概要】ペール缶を用いて土のう製作（土砂充填作業）する方法。

【利点】土のう製作作業の省力化（1人でも製作可能）やバックホウによる製作を可能としペール缶が大量に入手できれば**水防活動時に早急な土のう作成作業が可能**。

【課題】ペール缶の確保、保管場所等を明確にする必要がある。

ペール缶



三角水のう

【概要】土のうの代わりに、遮水性の高い三角形の**水のう**を用いる方法。

【利点】従来の土のう積みと比較して設置作業時間を1/15に短縮でき、作業が容易で作業人数を省力化することができるため、**迅速に水防活動を実施することが可能**。また、土砂の確保が不要であり、折りたたんで持ち運べるため利便性に優れ、使用後は再利用可能であることから経済的である。

【課題】注水用ポンプが別途必要である。



- 小貝川において橋梁部の局所的に低い堤防部分の水防活動について、河川事務所所有の水のうを市に貸与する確認書を「取手市長」及び「龍ヶ崎市長」と「事務所長」により締結。貸与を受けた水のうを活用し、「取手市」及び「龍ヶ崎市」が構成市となっている「利根川水系県南水防事務組合」が、水防活動を実施する予定。



橋梁部の局所的に低い堤防に見立てた箇所に水のうを設置した訓練の状況(平成28年9月15日)

安倍川における水のうを活用した釜段工法

【水防力の維持・向上に係る取組】

- 安倍川・大井川大規模氾濫に関する減災対策協議会では、安倍川の河川敷において、水防団・消防団(21名)が参加した、「水のう」を使った釜段工の設置訓練を実施。



○ 水防演習の中で、水のうの概要について紹介し、水のう工の設置訓練を行うとともに、展示コーナーで大型水のう等の展示も実施。

【平成30年5月12日開催 由良川水系総合水防演習】

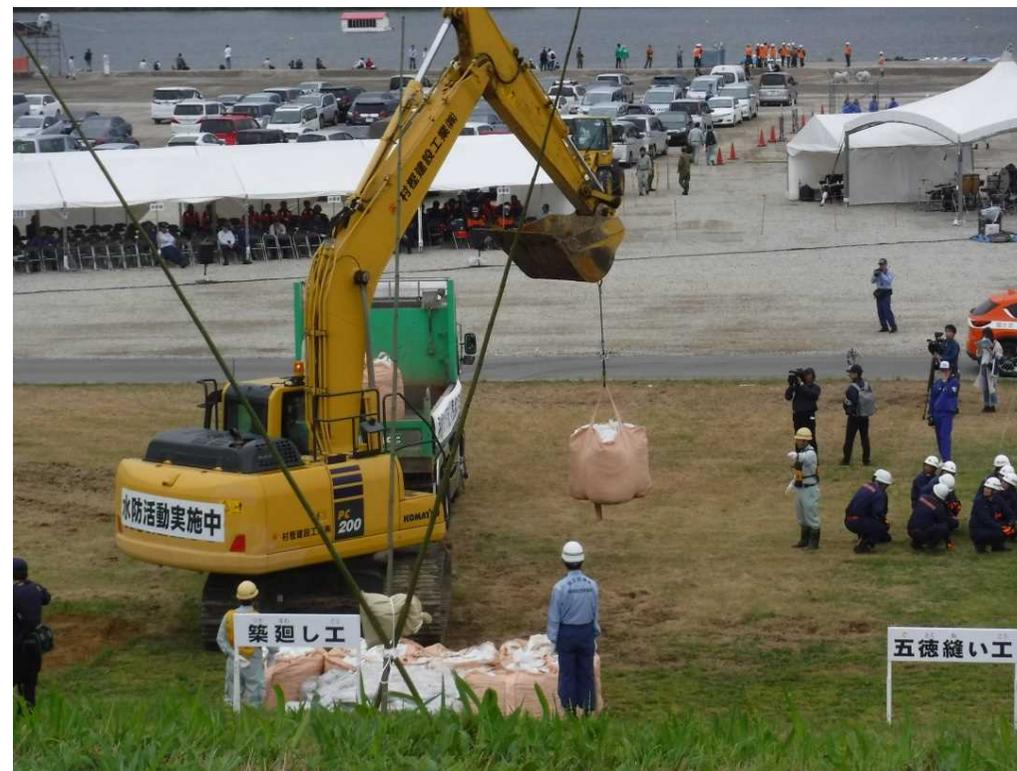
京丹波町：越水止め水のう工



展示コーナー：大型水のう



- 国・県・町が管理する施設に災害が発生した場合等の災害応急対策として、「被害の拡大防止」・「被災施設の早期復旧」のため建設会社と協定を締結している。
水防演習では、災害協定を締結している建設会社にも参加いただき水防活動を実施した。
【平成30年5月19日開催 利根川水系連合・総合水防演習】



建設業者と連携した水防活動

- 建設業協会と連携し、土のう運搬、積土のう工（宮津建設業協会）、土のう運搬、大型土のうの作成・設置（京都府建設業協会）の訓練を行った。
【平成30年5月12日開催 由良川水系総合水防演習】

積土のう工
（宮津市、宮津建設業協会）



土のう運搬（京都府建設業協会）



大型土のう工
（京都府建設業協会）



千曲川・犀川における重要水防箇所への合同巡視 【水防力の維持・向上に係る取組】

○ 千曲川・犀川沿川の11市町村において、出水期前に各自治体防災担当職員や消防団(110名)地域住民代表及び災害協定建設企業と合同で重要水防箇所・水防資機材の現地確認を実施するとともに、各河川に精通する防災エキスパートと意見交換を行い、出水時における危険箇所や注意点を共有する取り組みを実施。



国土交通省
千曲川河川事務所
 Chikumagawa River Office
 Hokuriku Regional Development Bureau
 Ministry of Land
 Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
 平成29年4月28日

千曲川・犀川の重要水防箇所を地域の皆様と共に点検します

千曲川河川事務所では、梅雨・台風などの本格的な出水期前に、管内の千曲川・犀川において関係機関及び地域の皆様と合同で、洪水時に危険が予想される重点的に点検が必要な箇所(重要水防箇所)及び水防活動に必要な資材の備蓄状況を点検します。

これにより洪水時における水防活動の連携強化を図るとともに、地域の皆様と洪水に対するリスクを共有します。

巡視箇所(実施日順) ※集合場所は別紙参照

- 松本市(梓川・波田)地区(別紙-1)
日時:平成29年5月10日(水)13時30分~
- 松本市(島内・新村)地区(別紙-2)
日時:平成29年5月11日(木)13時30分~
- 安曇野市(別紙-3)
日時:平成29年5月17日(水)9時00分~
- 長野市(別紙-4)
日時:平成29年5月19日(金)9時00分~
- 須坂市(別紙-5)
日時:平成29年5月22日(月)13時30分~
- 中野市(別紙-6)
日時:平成29年5月23日(火)9時30分~
- 飯山市(別紙-7)
日時:平成29年5月23日(火)13時30分~
- 千曲市(別紙-8)
日時:平成29年5月23日(火)14時00分~
- 小布施町(別紙-9)
日時:平成29年5月25日(木)13時30分~
- 坂城町(別紙-10)
日時:平成29年5月25日(木)13時30分~
- 上田市(別紙-11)
日時:平成29年5月26日(金)13時30分~
- 生坂村(別紙-12)
日時:平成29年5月29日(月)13時30分~



昨年度の状況(備蓄資材の確認)



昨年度の状況(重要水防箇所の点検)

【配布先】
 ・長野市政記者クラブ
 ・長野県庁会見場
 ・新建新聞社
 ・長野経済新聞社
 ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】
 国土交通省北陸地方整備局
 千曲川河川事務所 026(227)7611
 副所長(管理) 田邊 雄司(たなべ ゆうじ)
 防災情報課長 宮尾 伸憲(みやお しんけん)
<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

自治体の防災担当職員、消防団や地元住民代表等が参加し、身近な水害の危険性や円滑な水防活動に資するための情報共有を図り、地域防災力の工向上に取り組んでいる



消防団・住民・関係機関との巡視



災害協定業者との合同点検



水防活動資機材の確認



防災エキスパートとの意見交換 17

安倍川・大井川における重要水防箇所への合同巡視【水防力の維持・向上に係る取組】

- 出水期を迎えるにあたり、静岡河川事務所では、国・県・市町職員に加え、水防活動を行う水防団・消防団(21名)と合同で安倍川・大井川の危険箇所、重要水防箇所等、水害リスクの高い箇所の点検を実施。また、今年度は水防団・消防団との意見交換会を行い日頃の水防活動について感じていること等を情報共有。

■意見交換会 議題

- ①市町の水防団・消防団が日頃感じている疑問や問題
水防団・消防団の高齢化や人員不足について課題を共有しました。
- ②土のうステーションの整備について
水防活動時の土のうや水のうの備蓄状況を確認し、国・県・市町が一体となった整備の重要性を確認しました。



合同点検の出発式(安倍川)



水防団・消防団との
意見交換会(大井川)



重要水防箇所・危険箇所
の点検(安倍川)



水防資機材(水のう)の点検
(安倍川)

- 平成29年6月8日に淀川水防連絡会を開催し、水防に関する情報共有・意見交換を行うとともに、淀川河川事務所、京都府、大阪府、自治体、水防事務組合(76名)により、重要水防箇所や工事予定箇所を確認する「現場合同点検」を実施。

淀川水防連絡会



現場合同点検 (桂川)



- 平成28年台風10号による洪水時の対応について、河川管理者、水防管理者（南富良野町）、消防団等による振り返りを行い、課題および対応策等について共有。

課題

- ① 通信不備や河川管理者、水防管理者、消防団員間での災害状況・対応状況の情報共有不足等、**伝達手段や伝達内容が確立されていなかった。**
- ② 防災備品の在庫を把握出来ておらず、また災害対应用資機材・拠点施設が浸水被害を受けるなど、**水防活動に支障が生じた。**
- ③ **パトロールや現場対応に出ていた消防団員が被災しそうになる**など、現場対応者の安全確保について検討が必要。

対応策の検討

- ① 消防無線や職員等の**個人携帯電話など複数のツール**を用意して確実に情報伝達できるようにしておく。また、**情報伝達の流れをシステム化**し平時より確認しておくとともに、町と消防との間の情報共有については、今後災害対策本部が設置された段階で消防から本部に1名派遣する。
- ② 防災備品や災害対应用資機材の在庫確認は**台帳管理を徹底**し、保管場所については**浸水範囲外に移転**する。また、情報の集約や現状の確認を確実にを行うため、**部署間での連携体制を明確化・強化**する。
- ③ 消防団員等の安全を確保するため、**救命胴衣やヘルメット等の保管状況について部署間で共有**するとともに、タイムラインを策定（H30.2）し、**消防団員の退避のタイミングを共有**。



避難所に指定されていた
拠点施設が浸水した

災害対応用資機材
庫が浸水した

平成29年7月,8月の出水を踏まえた雄物川における対応

【水防力の維持・向上に係る取組】

- 「雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会(臨時会)」を開催し、以下の共有がなされた
 - ・平成29年7・8月洪水における課題の抽出と対応の検討
 - ・課題を踏まえた対策を消防団・水防管理者(今回は大仙市)・河川管理者間で共有していく

【水防活動に関する課題】

- ・土のうは水防倉庫にまとめて保管していたが、7月洪水では地区によって土のうが不足したため時間を要した。
- ・河川と並行するJRアンダーパスからの住宅地浸水に対応できなかった。
- ・用地問題により無堤となっている間倉地区においては、河川管理者が大型土のうで対応したが隙間から漏水が生じた



土のう事前製作状況



消防ポンプ小屋へ土のうの保管



間倉地区土のう設置状況

左: H29.8出水時 右: H30.5出水時(シートあり)



【対応】(一部、協議会後に発生したH30.5月洪水での対応も含む)

- ・旧神岡町内全域(消防ポンプ小屋)に土のうを分散して保管した結果、8月洪水及びH30.5月洪水では迅速な対応ができた。
- ・H29.8及びH30.5月洪水では、事前にアンダーパスに土のうを積むことによって浸水を防いだ。
- ・同様に間倉地区においてはシートなどで大型土のうの遮水性を確保した。

【意見】

- ・消防団等から地域住民に避難の声掛けを実施したことが、人的被害がなかった要因の1つと考える。
- ・出水中の情報伝達や出水後の水防活動状況の報告など、情報共有を確実に実施していくことが必要。
- ・無堤地区においては、全体に土のうを積むことが困難であることから住宅地浸水を防ぐための箇所と役割分担を共有が必要。

平成30年5月出水時の雄物川における対応（大仙市）

【水防力の維持・向上に係る取組】

○H29.7.22の被害

■浸水面積 ※速報値

秋田市 5.2km² (外水4.7km²、内水0.5km²)
 大仙市 25.1km² (外水18.7km²、内水6.4km²)
 横手市 1.7km² (内水1.7km²)
 合計 32.0km²

■浸水家屋数(住家) ※速報値

秋田市 334戸 (外水193戸、内水141戸)
 大仙市 690戸 (外水501戸、内水189戸)
 横手市 4戸 (内水4戸)
 合計 1,028戸

○H29.8.24の被害

■浸水面積 ※速報値

秋田市 0.25km² (外水0.25km²)
 大仙市 5.98km² (外水2.81km²、内水3.17km²)
 横手市 0km²
 合計 6.23km²

■浸水家屋数(住家) ※速報値

秋田市 0戸
 大仙市 6戸 (外水2戸、内水4戸)
 横手市 0戸
 合計 6戸

H29.7.22の被害

■ 外水氾濫
 ■ 内水氾濫

H29.8.24の被害

■ 外水氾濫
 ■ 内水氾濫



- 由良川では現在堤防整備を進めているものの、平成29年台風21号来襲時、未着手箇所において溢水が生じ、浸水による被害が発生。工事中における浸水被害の縮小を図るため、「由良川減災対策協議会」において課題とそれに対する対応を共有し、河川管理者と水防管理者、消防団等で各々の役割分担の明確化を図った。

【役割分担と対象箇所】

- 河川管理者(近畿地方整備局)、道路管理者(京都府中丹西土木事務所)
事前予防として川北橋左岸上流、川北橋右岸上流、戸田橋左岸上下流の開口部の応急対応を実施。水防管理者へ水防警報等の情報を提供。
- 水防管理者(福知山市)
河川管理者からの水防警報をふまえて、消防団へ待機・出動・解除等を指示。
- 消防団(福知山市消防団)
水防管理者等と連携し、各々の分団所掌地域の避難誘導等を実施。
- 出水時には引き続き、河川管理者、道路管理者、水防管理者、消防団が連携して災害対応を実施。



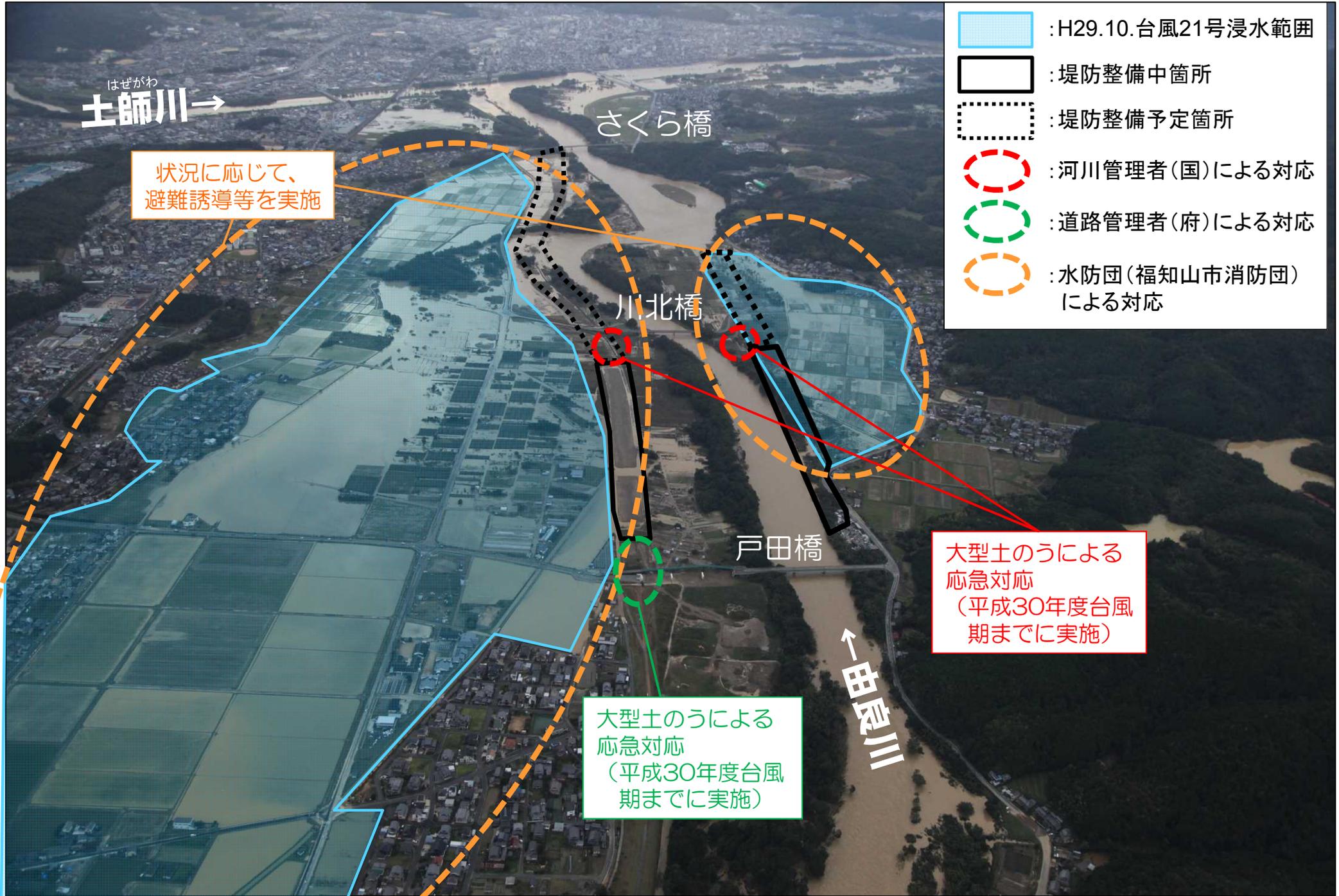
河川管理者による開口部の応急復旧対応
(大型土のうによる仮締切り)のイメージ



消防団による水防活動(H29.台風21号、
福知山市消防団による積み土のう工)

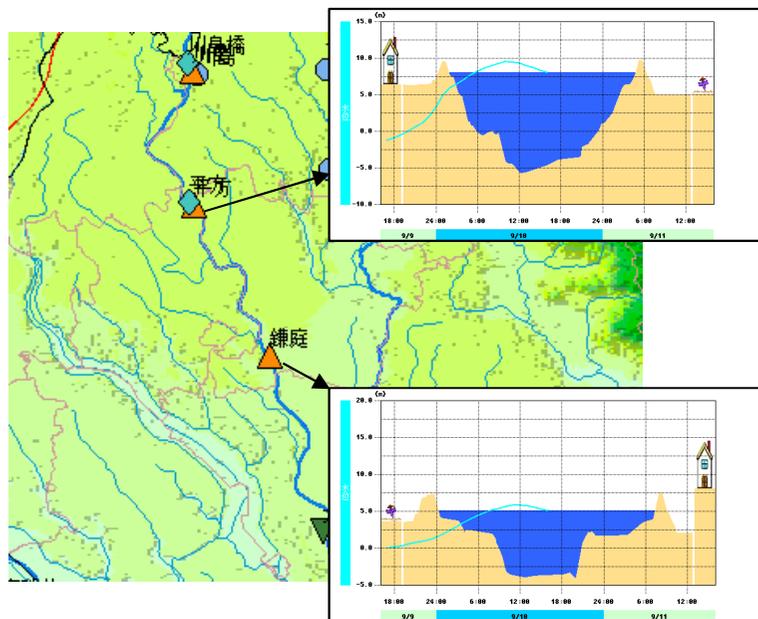
平成29年台風21号による出水を踏まえた由良川における対応

【水防力の維持・向上に係る取組】



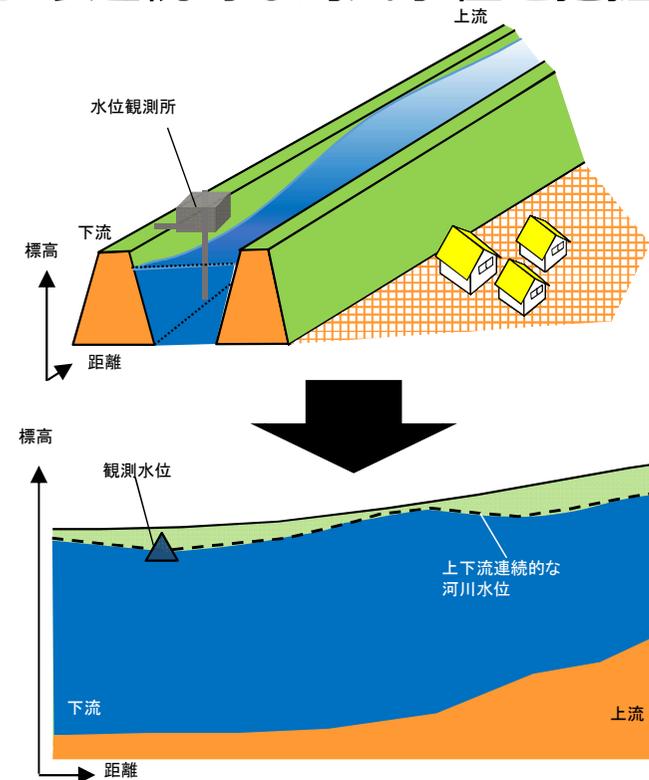
【現在】

水位観測所地点の水位を把握
(点情報)



【今後】

水位計増設ときめ細かい河川の断面情報の反映により連続的な河川水位を把握 (線情報)



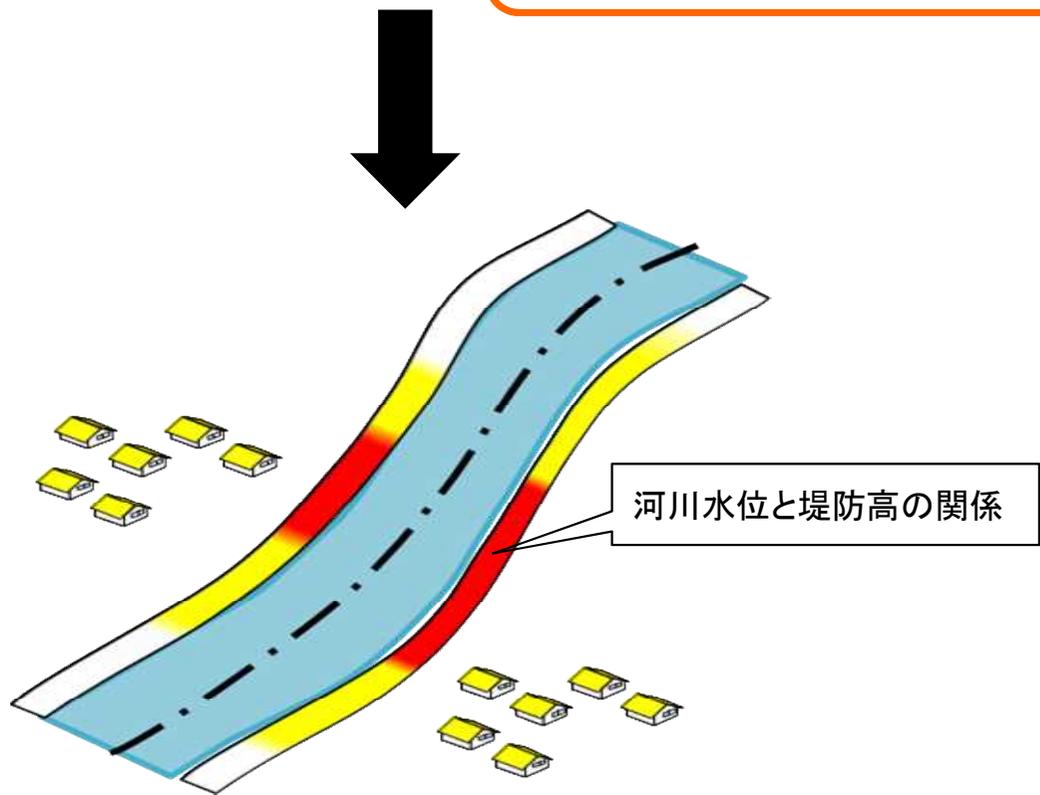
河川の状況情報を「点情報」から「線情報」へ展開

上下流連続的な河川水位の情報により、河川の状況を的確に把握

上下流連続的な河川水位

+

- 堤防天端高
- 堤内地盤高
- 巡視情報
- CCTV画像
- 計画高水位・氾濫危険水位等



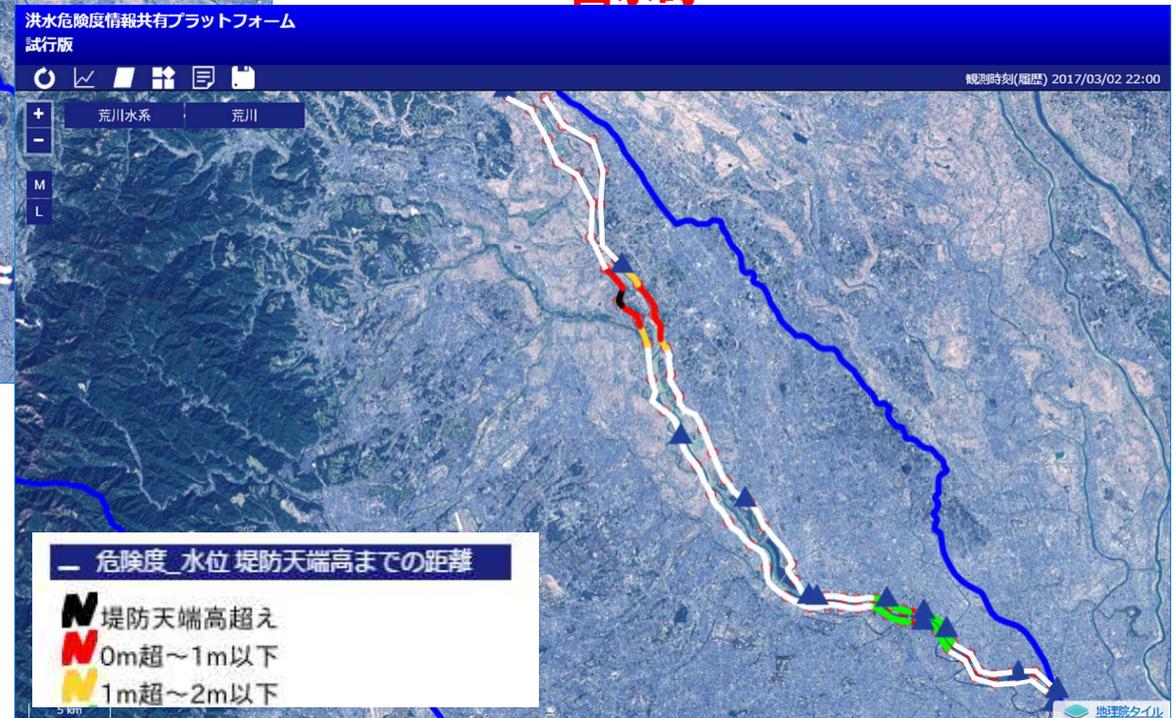
連続的な河川水位情報に堤防高等の**情報を組み合わせる**ことで、**氾濫の危険性、切迫性**をリアルタイムで地先毎に把握

平常時



左右岸の堤防天端のライン

出水時



氾濫の切迫度を階層ごとに色分けして表示

氾濫の切迫度：

- ・河川水位が堤防天端に達するまでの時間
- ・河川水位と堤防高の差

を選択可能(色分けの閾値も任意に設定できる)

団員の士気高揚に係る取組

- 地域住民や団員家族等、身近なところで理解を広げる取組

水防演習における水防団員の家族席の配置

【団員の士気高揚に係る取組】

- 水防演習に参加している水防団員の家族の見学スペースとして「水防団家族席」をテント内に配置し、水防工法訓練に参加している水防団員の姿を家族の方に間近に見て頂き、家族の理解が得られやすくなるよう配慮。【平成30年5月19日開催 利根川水系連合・総合水防演習】



水防団の家族の見学スペースとして「水防団家族席」を配置

- 総合水防演習の中で開催(平成18年より)。東北各県の選抜6水防団(参加者は各県20名を上限)により水防工法(月の輪工・シート張り工)を実施し、出来栄え、競技中の規律を審査。最優秀賞、優秀賞各1団体、奨励賞4団体について表彰。(閉会式では上位の最優秀賞、優秀賞のみ表彰状授与を実施)【平成30年5月27日開催 最上川総合水防演習】

■大会開催の背景

- 東北地方は高齢化が著しく、水防団についても人材の保持及び**新たな人員の確保が急務**である。
- 消防団の競技大会は多数あるが、水防団の競技大会は事例が少ない。
- 競技大会により各水防団を競わせることにより水防技術の向上を図る。また、表彰を行うことにより**水防団の士気向上**とともに、競技大会見学者に対して**水防団への参加気運を高める**ことを期待。

【受賞者の声】

- ・消防団の水防技術を評価してもらえた。練習の成果を発揮できた。
- ・皆で熱心に練習した成果。大会を通じて強まった絆が、実際の出動の際に力を発揮してくれると思う。
- ・団幹部や指導員の指導のたまもの。今後も気を引き締め、消防団活動に取り組みたい。
- ・いつ災害が起きても対応できるように今後も訓練を重ねたい。



- ・水防団の士気向上に寄与している。
- ・ペナント等は団員の勲章として扱われている。
- ・競技大会の結果は新聞等でも取り上げられており、水防団の絶好のアピールの場となっている。



表彰式の様子(左:最優秀賞 名取市消防団 右:優秀賞 福島市消防団)



東北水防技術競技大会実施状況(左:月の輪工 右:シート張り工)

共通の取組

- 先進事例等の共有・展開

